市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	健康診査用機材搬送事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－2－（8）－ウ 公平で良質な医療・福祉サービスの確保
担当部課名	健康づくり課	事業実施（予定）年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4-2
事業内容	集団検診（住民健診・胃がん検診・婦人がん検診）時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3, 900	3, 900	3, 964	3, 905	5, 127
	(b) 予算現額	3, 797	2, 468	3, 984	3, 856	4, 626
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 103	▲ 1,432	20	▲ 49	▲ 501
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	3,797	2,468	3,984	3,856	4,626
B. 執行済額		3, 797	2, 468	3, 984	3,855	4,626
うち交付金充当額		3, 037	1, 974	3, 187	3,084	3,700
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）（B/A）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画通り適正に執行が行えたと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
検診機材搬送年2回実施 （検診3回×5島6地区=18件）	目　標	（　12件　）	（　18件　）	（　18件　）	（　18件　）
	実　績	12件	18件	18件	18件
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明
- 住民健診・胃がん検診、婦人がん検診実地時に、石垣島より町内各島を経由し検診機材を貨物船を傭船して運搬した。
- 住民健診と胃がん集団健診は同時実施としているが、運搬回数に変動はなし。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（R元年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
集団検診受診者数	目　標	（ 2,091名 ）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
・特定健診対象者の受診率　60%以上 ・胃がん検診対象者の受診率10%以上 ・婦人がん（子宮頸がん）検診対象者の受診率　30%以上	目　標	（　　）	（ 60% 8.7% 18.8% ）	（ 60% 10.0% 39% ）	（ 60% 10.0% 30% ）	（　　）
	実　績		49.5% 12.1% 26.2%	53.5% 10.91% 36.11%	56.0% 10.47% 18.40%	

進捗状況説明
- 胃がん集団健診は、住民健診と同時実施したことにより、目標達成することが出来た。
- 特定健診受診率が56.0%と、前年度よりは増加したものの、目標が達成できなかった。
- 婦人がん検診は今年度は子宮頸がん検診となっており、前年度の乳がん検診より大幅に受診率が低く、目標達成できなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・集団検診は日程が限られており、町内の診療所でも個別で受診することができないため、集団検診を受診できない場合は島外の医療機関で受診することとなる。 ・令和5年度より胃がん検診が予約制となり、受付期間も短かったため、前年度より受診率が低かった。	・集団健診で受診できなかった方へは個別健診の呼びかけを広く行う。 ・胃がん検診が予約制のため、早めに周知を行う。 ・令和6年度以降、受診率向上のため特定健診対象者で前年度受診者へ個別勧奨を行う。

今後の取り組み方針

・個別検診の案内を広く行うため、国民健康保険税の通知を発送するときに個別検診のご案内のチラシを同封し、広く周知を図る。
・がん検診について、広報・LINE・ホームページ等で定期的に周知する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,626	4,626	3,700	926	0

竹富町 4,626千円 → 使用料及び賃借料 4,626千円 → 沖縄県農業共同組合 4,626千円

・竹富町住民検診・特定健診・胃がん健診（集団健診）車両運搬に係る貨物船舶傭船契約
・婦人がん（子宮頸がん）健診（集団健診）に伴う健診車両運搬に係る貨物船舶傭船契約

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は随意契約であったが、検診車両の運搬の条件を勘案しており、選定方法については妥当であったと考える。 ○見積書による予算に促して事業を実施しており、予算規模は妥当であったと考える。 ○費目・使途は検査により確認されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	竹富町民等交通コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア 人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化
担当部課名	政策推進課	事業実施（予定）年度	平成27年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)
事業内容	島々を結ぶ高速船の船賃を負担することで、船はJR並みの料金にし、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減するとともに、生活の利便性を確保する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　□補助　■負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	105, 845	100, 834	100, 834	90, 000	95, 300
	(b) 予算現額	86, 645	71, 419	75, 321	80, 070	92, 000
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 19,200	▲ 29,415	▲ 25,513	▲ 9,930	▲ 3,300
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	86,645	71,419	75,321	80,070	92,000
B. 執行済額		86,645	71,419	75,321	81,325	87,863
うち交付金充当額		69,316	57,135	60,256	65,060	70,290
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	101.6%	95.5%
予算の状況の説明		2月末までを交付対象とし、3月分は単費で対応している。利用率減を見込んで事業費の減額を行った。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
船賃の一部負担	目　標	（ 船賃の一部負担 ）	（ 船賃の一部負担 ）	（ 船賃の一部負担 ）	（ 船賃の一部負担 ）
	実　績	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	町民の生活に欠かすことのできない高速船での移動の際に係る船賃の一部を負担することにより、交通費の負担軽減及び利便性が高まった。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか（80%以上）を含め、本事業のあり方を検証する。	目　標	（　）	（ 80% ）	（ 80% ）	（ 80% ）	（　）
	実　績		65.4%	85%	86%	
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	利用者へのアンケート調査で、移動の利便性が確保されたかを含め事業のあり方を検証した。 結果、負担が軽減されているとの回答が86%となり、昨年の85%を上回る結果となった。

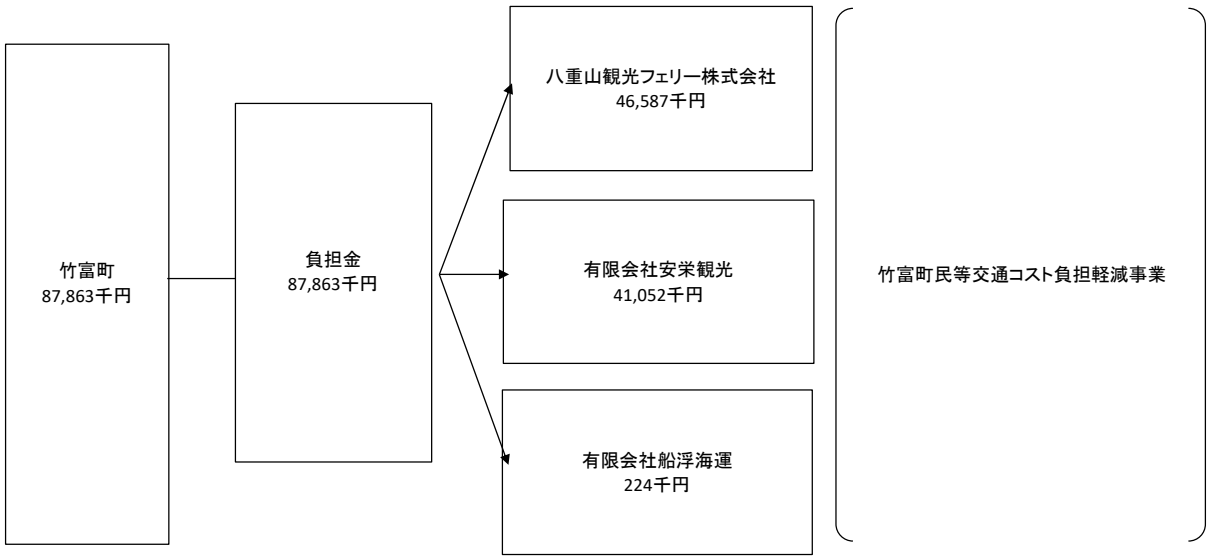
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（町民の満足度） 成果目標として、80%を上回った要因については、平成27年度～令和5年度と継続的な支援を実施していることが要因と考えられる。	（町民の満足度） ・船賃料金は、船会社が設定する利用料金と燃料油価格変動調整金の合算が町民の負担する料金であります。 本事業においては、船会社が設定する利用料金に対し、JR料金並みにすることとしておりますが、燃料油価格変動調整金に対しては、町単独事業として第1段階のみを負担することとしており、実質、町民が利用する料金は燃料油価格変動調整金も上乗せされた料金(R6.5月末現在.第3段階)で利用されている。 以上のことから、成果目標をさらに上回るためには、燃料油価格変動調整金においても一体的な支援を永続的に講じる必要がある。

今後の取り組み方針

（町民の満足度）
船員の確保や船便の運航時間・便数の改善に向けて船会社と調整に取り組み、燃料油価格変動調整金においては、本事業と一体的な支援を永続的に講じるためには、新たな事業の創設を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
87,863	87,863	70,290	17,573	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、町内に航路を有する全ての船会社であり、妥当といえる。 ○年度途中に実績額を基に予算を見込み、執行率が95.5%となっていることから、予算規模は適正であった。今後は、不用額を出さないよう、より正確な積算の検討を実施し、予算執行に努める。 ○料金設定をJR料金並みとしている為、町民の利便性・公平性からも妥当といえる。 ○費目・使途については町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－③	町外保育士等誘致支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	４－２－⑵－ア 子ども・子育て支援の充実
担当部課名	福祉支援課	事業実施（予定）年度	R4～R6	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4-⑵
事業内容	保育所の職員不足を解消するため、町外在住で竹富町内へき地保育所への就労を希望する者に対し、渡航費、引越し費用の移住費用（実費）を補助する。				
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R年度	R年度	R年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,200	1,200	0		
	(b) 予算現額	1,200	68	0		
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 1,132	0	0	0
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	1,200	68	0	0	0
B. 執行済額		0	68			
うち交付金充当額		0	54			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：R4年度は、遂行困難のため取下げをしている。
R5年度は当初の見込みより応募者が少なかったことから、不用額が生じたため減額を行った。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R年度	R年度
渡航費、引越し費用の移住費用（実費）の補助	目　標	（ 県外より4名 ）	（ 県外より4名 ）	（　）	（　）
	実　績	0名	県外より1名		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：県外より保育士1名が採用となり、移住費用（実費）の補助を行った。（大富保育所：R5．４月より採用）

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（5年度）	R5年度	R年度	R年度	目標値（　年度）
待機児童：0名	目　標	（ 0名 ）	（ 0名 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		0名			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：現在は待機児童が0名ですが、今後は児童の受入れが厳しい保育所が出てくる可能性があるため、引続き保育所職員の確保が必要である。

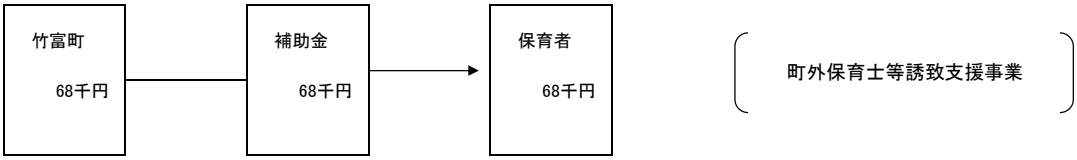
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・補助があることで、離島への移住のハードルは少し下がり、保育所職員の確保ができ、児童の受け入れができた。 しかし、保育所職員の確保には移住費用（実費）の負担が大きく、職員不足の影響となっている。	令和6年度は、引越し費用（実費）の補助ではなく、交付型に変えて更なる移住・就職に繋げていきたい。

今後の取り組み方針

ホームページやハローワーク、保育士合同説明会の参加等を通して幅広く求人活動を行い、保育所の職員不足の解消に繋げていく。
令和6年度は、一括交付金を使わず他の財源にて対応することとなった。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
68	68	54	14	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、交付要綱に基づく保育者としており、妥当である。 ○事業の目的・内容から予算規模は適正な規模であった。 ○町外から就労する保育士には渡航費、引越し費用の実費のみを補助しており、負担関係は妥当である。 ○費用・使途については、申請書類等で審査しており、真に必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	竹富町救急救命搬送拡充事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	４－２－（３）－ウ 離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実
担当部課名	防災危機管理課	事業実施（予定）年度	令和5年度～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－４－（２）
事業内容	島嶼のため医療体制及び救急搬送体制が脆弱であるうえ、世界遺産の登録により観光客が増加している西表島において、救急救命体制の拡充を図るため、民間救急事業者による救急救命士の24時間専任体制を構築し、安心な定住・観光環境を推進する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
予算の状況	(a) 当初予算額	76, 139				
	(b) 予算現額	76, 139				
	(c) 増減額 (b−a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				0
	A. 計 (b+d)	76,139	0	0	0	0
B. 執行済額		76, 139				
うち交付金充当額		60, 910				
次年度繰越額		0				
執行率 （%） (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：当初の予算範囲内で委託契約を締結し事業を遂行することが出来た。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
救急患者が多い西表島西部地域における、救急救命に係る各種活動の実施 (1)事故発生や発病等による傷病者への救命救急対応及び、医療機関への搬送活動 (2)西表西部診療所から他の医療機関への搬送及び搬送中における救急救命活動 (3)応急手当の普及活動及び疾病予防等の啓発活動	目　標	（各種活動の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	各種活動の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・当初計画のとおり、委託契約を締結し各種活動の実施を行うことにより、救急救命搬送の拡充が図られた。
出動件数：74件（66件）、転院搬送30件（29件）、救護活動：10件（10件）、応急手当普及活動等：28件（27件）
※（）の件数は、4月～2月までの件数

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
急患搬送の拡充が図られたかアンケートにより検証する。（消防団・医療関係機関）	目　標	（80%）	（80%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			
【参考指標】 西表西部地区における救急搬送要請への対応率。	目　標	（100%）	（100%）	（　）	（　）	（　）
	実　績		100%			

進捗状況説明：消防団・医療従事者等による患者搬送業務の拡充についてのアンケート結果より、全ての回答者から搬送業務の拡充が図られたとの回答があった。また、救急搬送要請への対応率は100%だった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	これまで救急搬送業務は、消防団員が対応していたため、急患搬送の迅速化、搬送時の対応、夜間の急患搬送の負担が課題となっていた。民間事業者による救急救命士の24時間専任体制により、搬送業務の迅速化、搬送時の特定医療行為、応急手当の普及活動及び疾病要望等の啓蒙活動が行われたことが目標達成の要因と考えられる。また、事業を導入したことで、西表西部地区内の救急搬送業務は迅速化し、現場出動から転院搬送時に港、ヘリポートまでの救急救命士が同乗することにより、消防団や診療所スタッフの負担が軽減されたとの声もあった。	町の基本計画で目標としている島人と来訪者の安全を確保する安全な町、島人の暮らしと来訪者の滞在を支える安心な町の実現に向け、引き続き民間事業者と委託業務を締結し、消防団、医療従事者、関係機関と連携とり救急搬送業務の拡充に取り組む。

今後の取り組み方針

前年度の活動報告を基に救急救命に係る各種搬送活動の改善、救急救命士の資質向上への支援、医療従事者、関係機関との連携を行い、更なる搬送体制の拡充に向け取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
83,061	76,139	60,910	15,229	6,922

竹富町 76,139千円 → 委託料 76，139千円 → 日本救急システム株式会社 76，139千円

（竹富町救急救命業務委託契約）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号、竹富町契約規則第20条第1項第1号に基づき、随意契約を行っており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○仕様書に基づき、事業内容に見合った規模となっている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○仕様書の事業目的に即した費目・使途になっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑤	祖納上村地区観光路整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第４章－３－（10）－（ウ） 持続可能で質の高い離島観光の振興
担当部課名	まちづくり課	事業実施（予定）年度	令和4～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)

事業内容	西表島祖納地区の通称「上村（ウィムラ）」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で利活用に向けた土地利用計画が進められている。 点在している昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐるコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園（仮称）の整備を図る。
効果発現年度	□当年度　■後年度（令和14年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算の状況	(a) 当初予算額	22, 528	34, 830			
	(b) 予算現額	22, 330	5, 991			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 198	▲ 28,839	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	22,330	5,991	0	0	0
B. 執行済額		22, 330	5, 991			
うち交付金充当額		17, 864	4, 793			
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明：R5年度、用地調整支援業務、地積測量図等作成業務、不動産鑑定業務を計画していたが、当該地域が埋蔵文化財包蔵地となっていることが発覚し、地積測量図等作成業務及び不動産鑑定業務を執行することができなかった。今後は、関係法令の入念な事前確認及び関係機関と線密な事前調整を行い埋蔵文化財担当専門職員の立ち会いのもと進める必要がある

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
散策路整備に関する調査測量・設計業務の実施	目　標	（調査測量設計業務）	（　）	（　）	（　）
	実　績	完了			
散策路整備に関する用地補償総合技術業務の実施	目　標	（　）	（用地調整支援業務）	（　）	（　）
	実　績		実施		

達成状況説明：・整備事業に先立ち関係権利者に対し必要な土地等の取得を計画していたが当該地域が埋蔵文化財包蔵地となっていることが発覚し、用地取得に必要となる地積測量図等作成業務を執行することができできず、潰れ地用地所有者の法定相続人の追跡調査を実施し終了した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R14年度）
散策路整備路に関する調査測量・設計業務の完了	目　標	（　）	（設計業務完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		設計業務完了			
散策路整備路に関する用地補償総合技術業務の完了	目　標	（　）	（　）	（用地調整支援業務）	（　）	（　）
	実　績			用地調整支援業務未完了		

進捗状況説明：・本事業整備地区一帯は埋蔵文化財包蔵地（上村史跡）であり、工事着手前に埋蔵文化財にかかわる試掘調査、確認調査が必要となってくる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業を推進するなかで、当該地区が埋蔵文化財包蔵地域であることが判明した。文化財担当専門職員立会のもと整備を進める必要がある。	本地域には新たな貴重遺跡があると予想される。遺跡は未調査の部分があり、試掘調査、確認調査をふまえ保存目的の発掘調査を行う必要がある。文化財保護の観点から関係機関と協議を行い進める必要がある。

今後の取り組み方針

埋蔵文化財等の調査は、保存活用の義務が生じ専門的な分野であることから文化財担当課で行う。
令和6年度は、一括交付金を使わず他の財源にて対応することとなった。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,991	5,991	4,793	1,199	

竹富町 5,991千円 → 委託料 5,991千円 → ㈱沖縄用地測量設計 5,991千円 （用地調整支援業務）

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○年度途中に埋蔵文化財発掘等の調査が必要であると判明し本業務の一部履行が困難となった為、減額を行い予算規模は適正であった。 ○費目・使途については業務完了報告を受け検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	竹富町観光誘客・受入対策事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興
担当部課名	自然観光課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9-(2)
事業内容	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	49, 877	31, 731	28, 103	52, 200	55, 295
	(b) 予算現額	48, 006	23, 862	22, 412	46, 388	53, 763
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,871	▲ 7,869	▲ 5,691	▲ 5,812	▲ 1,532
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	48,006	23,862	22,412	46,388	53,763
	B. 執行済額	48006	23862	22412	44,245	49,739
	うち交付金充当額	38404	19089	17930	35,396	39,791
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	95.4%	92.5%
予算の状況の説明		想定より安価で委託契約できた業務があり、予算減額した。また、最後まで見通しが難しい業務があり、不用額が発生した。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
文化、歴史を活用したコンテンツの調査、支援	目　標				デジタルスタンプラリー実施
	実　績				デジタルスタンプラリー実施
町内での消費を促すポイントカードシステムの運用	目　標	会員獲得	システム運用	システム運用	会員獲得・加盟店獲得・システム運用
	実　績	会員獲得	システム運用	システム運用	会員獲得・システム運用
ブランドイメージ構築に向けたポータルサイト改修、PV制作	目　標				サイト拡充・PV政策・プロモーション実施
	実　績				サイト拡充・PV政策・プロモーション実施
経済波及効果増幅関連勉強会の実施	目　標				5回実施、推計ツール作成
	実　績				5回実施、推計ツール作成
振興計画の周知による町民への意識啓発	目　標				町民向け振興計画小冊子作成
	実　績				町民向け振興計画小冊子作成
星空観測タワーの整備に関する意向調査	目　標				島民アンケート・意見交換会実施
	実　績				島民アンケート・意見交換会実施

達成状況説明

・西表島の文化、歴史等を学びながら周遊できるデジタルスタンプラリーを実施した。
・ポイントカードシステムではカード会員や加盟店加入の勧誘を行い、新規会員の獲得を図った。また、既存会員の中から上位利用顧客へDMを送付し、アプローチを行った。
・竹富町の観光ブランドイメージ「責任ある観光」の構築に向けたwebサイトや短編ムービー、チラシ、ポスター等を制作し、SNS等も活用したプロモーション活動を実施した。
・町職員向けの経済波及効果に関連する勉強会を実施し、経済波及効果推計ツールを作成した。
・竹富町観光振興基本計画を町民にもわかりやすく周知し、町民協働の観光振興施策実施の足掛かりとするための小冊子を制作した。
・波照間星空観測タワーの整備に関する島民アンケートや意見交換会を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
	観光客を対象としたアンケート調査を実施し、、「非常に満足」（5段階評価の最高評価）と回答した割合（60%以上）を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目　標	（　　）	60%	60%	60ポイント	（　　）
		実　績		47.1%	72.2%	87.2ポイント	

進捗状況説明

・R4年度まで観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度（「非常に満足」：60%）を達成することを指標としていたが、R5年度から観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光満足度評価平均60ポイント以上（最高100ポイントで10ポイントきざみ）を目指す。
・リアルタイムで集計結果を確認できる来訪者向けWEBアンケートシステムを令和5年度に構築し、島々を運行する船内や港にQRコードを貼ってアンケート調査を行った結果、令和6年3月31日時点で3,226件の回答があり、観光客の滞在全体の満足度は、平均87.2ポイントとなり、目標を達成できた。（令和5年度のシステム構築時に竹富町観光振興基本計画のKPI管理ができるよう設問を調整した結果、観光満足度の評価方法の変更があった。）

取組の検証

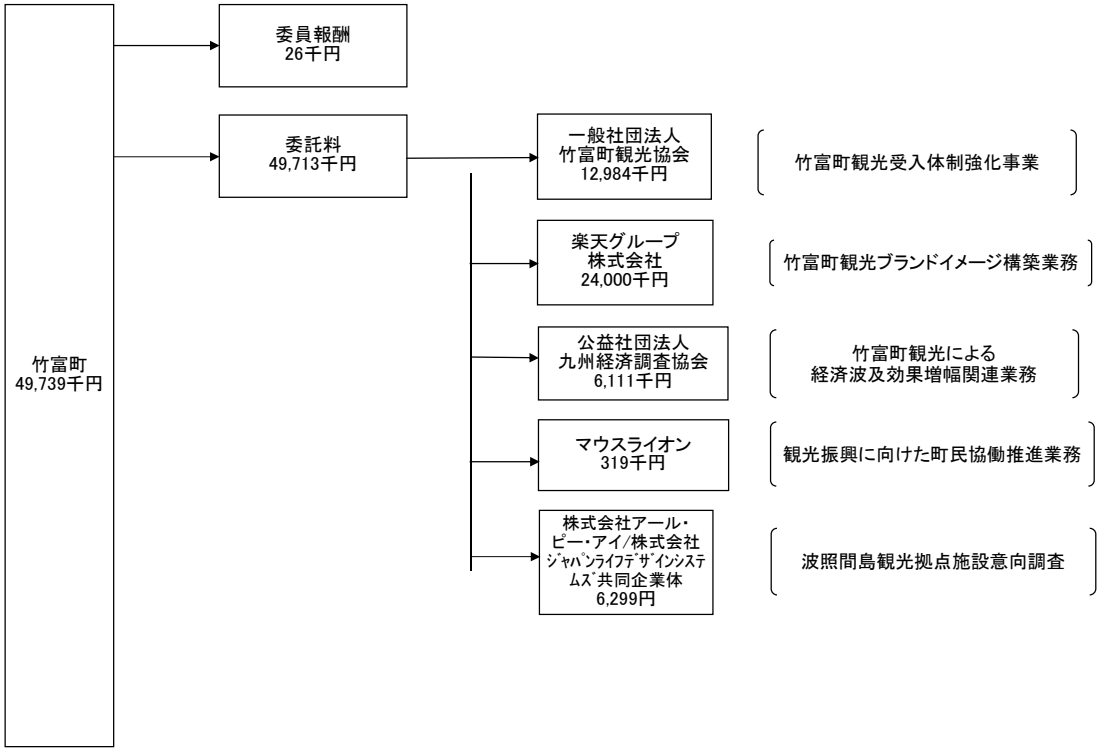
推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
島人と観光客が「またねっ！」と言い合える良い関係性（責任ある観光）を目指したプロモーションや文化、歴史等を学びながら周遊できるデジタルスタンプラリーの実施、観光客が経済活動を通じて地域貢献（公民館活動支援等）ができるポイントカードの運用、別事業で行っている自然体験ガイドの人材育成などの取組みが観光満足度確保につながったと考えられる。	引き続き観光満足度の維持、向上に向けた情報発信、受入体制強化の取組みを進めるとともに、観光満足度の低い項目の改善に向けた取組みも検討する。また、令和5年度で取り組んだ経済波及効果の勉強会や作成した推計ツール、町民協働の観光振興に向けて作成した小冊子、星空観測タワー整備の意向調査結果も活用し、観光満足度維持・向上に向けた取組みにつなげる。

今後の取り組み方針

引き続き観光満足度の維持、向上を目指して、訪日観光客向けも含めた情報発信、受入体制強化の取組みを進める。また、来訪者アンケート結果を更に分析して観光満足度の低い項目（公共Wi-Fi、ゴミ箱、公共トイレの整備状況や土産品の品揃え等）の各種要因を探りながら改善策を検討、実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
49,739	49,739	39,791	9,948	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○2業務は随意契約とし、その他はプロポーザル方式と少額見積り合わせを実施し、妥当な選定方法であった。随契理由については、地方自治法施行令第167条の2第1項第1号、竹富町契約規則第20条第1項第1号に基づき、随意契約を行っており妥当である。 ○執行状況に応じて適切に予算の補正を行ったことから、適正な予算規模であった。 ○完了報告時に、費目や使途を検査し、目的に即したものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア 沖縄文化の継承・発展・普及
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施（予定）年度	令和２年度 ～ 令和７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(3)
事業内容	デジタルミュージアムとしての資料公開を大きな目的とし、基本計画策定時の提言に基づき、年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行うとともに、アナログ資料のデジタル化をすすめ、地域住民や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額		12,000	18,000	82, 645	2, 799
	(b) 予算現額		11,997	16,720	1, 124	4, 097
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 3	▲ 1,280	▲ 81,521	1,298
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	0	11,997	16,720	1,124	4,097
B. 執行済額			11,997	16,720	1,122	4,097
うち交付金充当額			9,597	13,376	897	3,277
次年度繰越額						
執行率 （%） (B/A)		#DIV/0!	100.0%	100.0%	99.8%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画通り適正に執行が行えたと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
R3年度の基本計画の提言に基づき、年長者から地域に残るわらべ歌等の聞取り・記録調査（R5年度は竹富・古見）及び映像資料のデジタル化を行うとともに、町史編集室の写真資料のデジタル化を行う。	目　標	（基本構想の策定　）	（ 基本計画の策定 ）	（ アナログ資料のデジタル化と竹富島のわらべ歌等調査収集 ）	（ アナログ資料のデジタル化と竹富島・西表古見のわらべ歌等調査収集 ）
	実　績	基本構想の策定	基本計画の策定	アナログ資料のデジタル化と竹富島のわらべ歌等調査収集	アナログ資料のデジタル化と竹富島・西表古見のわらべ歌等調査収集
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	事業の実施にあたり、学識経験者・町内各団体の長等からなる展示検討委員会を2回、町内関係課長からなる幹事会を開催し、助言を受けながら計画どおり事業完了を行うことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
町保管等のアナログ資料のデジタル化を行い、公開可能なものについてはHPにて公開を行う。	目　標	（　　）	基本計画の策定	（ 資料取集の完了及び映像資料のデジタル化 ）	（ 資料取集の完了及び映像資料のデジタル化 ）	（　　）
	実　績		基本計画策定完了	完了	完了	
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	令和5年3月に完了したわらべ歌等聞取り調査実施報告書については、6月頃を目途にHPに公開予定。 デジタル化したデータについてもHPでの公開を予定。

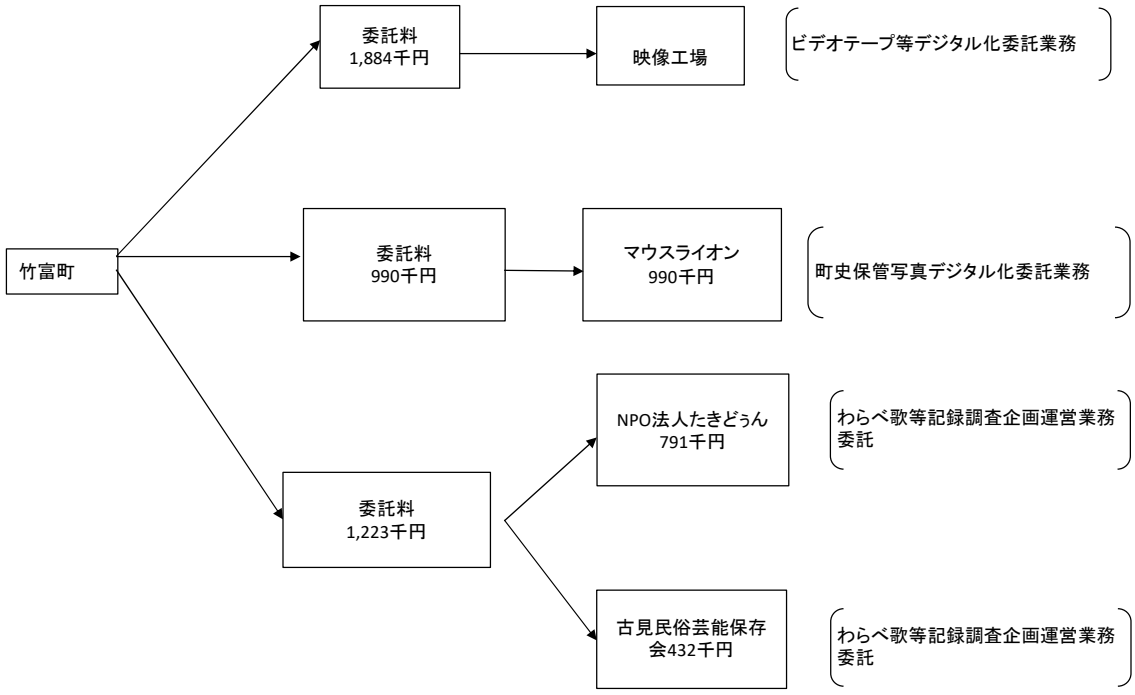
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	R3年度の提言に基づき、施設の整備に先駆け、古老からの聞取り等、失われつつある貴重な文化の伝承に取組んだ。R4年度に引き続き竹富島と新たに西表古見を対象として実施した。さらに、アナログ資料についても貴重なカセットテープ・ビデオテープ・オープンリール等の資料をデジタル化するとともに、島と教育委員会双方で保管し活用できる素地を作る。また、委員会の中で、デジタル化の進め方のほか、基本計画に沿って、どのように整備を進めていくのかについても協議した。	R5年度事業途中で、わらべ歌をよく知る方が鬼籍に入るなど、緊急を要する取り組みであることから、令和6年度はわらべ歌等記録の聞き取りを優先的に進め、デジタル化、サテライト施設に関する資料調査について、展示検討委員会・幹事会で協議した内容を軸に、事業を展開していく。

今後の取り組み方針

令和9年度のデジタル資料の全面公開にむけ、令和6年度は聞取りと無形の資料収集を急ぐ。また、基本計画にあるサテライト機能に関し、小浜島にて資料の調査と既存施設の整備に向けた検討を行って行く。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,097	4,097	3,277	820	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・島内を熟知している団体でデジタル化に関する機材を所有している業者等専門的な技術を持っている業者と地方自治法施行令第167条の2第1項第1号、竹富町契約規則第20条第1項第1号に基づき、随意契約を行っており妥当である。 ・業者見積書を参考に積算を行っており、適正であった。 ・費目・使途については業務完了報告を受け検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-③	竹富島ンブフル坂、世持御嶽前石畳整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－1－(5)－イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり
担当部課名	まちづくり課	事業実施（予定）年度	令和5年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容

重要伝統的建造物群保存地区の保全と観光地にふさわしい景観及び安心安全な観光地の保全を図ることを目的とし、既設石畳を参考としつつ、不陸の改善・周辺景観と調和する石畳の整備工事を行う。
計画：・R5世持御嶽前308㎡　・R6ンブフル坂　549.6㎡

効果発現年度　□当年度　■後年度（令和7年度）

実施方法　■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R5年度	R6年度			
予算の状況	(a) 当初予算額	44,352				
	(b) 予算現額	29,774				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 14,578	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	29,774	0	0	0	0
B. 執行済額		29774				
うち交付金充当額		23,819				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明
石畳整備面積数量減のため、事業費の減額があった。
事業内容を遂行するため適切な予算で合った。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R5年度	R6年度		
整備工事の実施(R5世持御嶽前、R6ンブフル坂)	目　標	（石畳工事実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	石畳工事完了 世持御嶽前			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明
・世持御嶽前において石畳整備工事を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度		目標値（7年度）
整備工事の完了	目　標	（　）	（整備工事の完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		整備工事の完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明
・世持御嶽前において石畳整備工事が完了した。
【R7成果目標】
魅力的な観光地としての景観形成が図られたか（80%以上）を含め、観光客や町民等へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	工事着手前に埋蔵物の有無の調査を行い、その結果、発掘されたため当初工期から延長せざるを得なくなったが、年度内に事業を完了させることができ、問題はなかった。	埋蔵物の調査を事前に終わらせ、工事を工期内に完了させる。

今後の取り組み方針

令和6年度早々に事業着工させるため事前に文化財担当職員と調整を進め埋蔵物調査を行い、確実に年度内完成を目指す。また、令和7年度にアンケートにより満足度調査を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,774	29,774	23,819	5,955	0

竹富町 29,774 千円 → 工事請負費 29,774 千円 → ㈲仲間土木 29,774 千円（交付対象外経費 0 千円）（R5世持御嶽前石畳整備工事）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事の業者選定一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は無く、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	児童生徒派遣費補助事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ 公平な教育機会の確保と学習環境の充実
担当部課名	教育委員会　総務課	事業実施（予定）年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	児童生徒のスポーツ等競技大会や文化活動コンクールへの町外派遣費を補助することにより費用負担を軽減し、島外の児童生徒との競争や交流の機会を持つことでより広い視野を持ち、竹富町内だけではできない経験をとおして子どもたちの心と体の健やかな育成を促し、離島格差の是正と人材育成に寄与する。
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,950	7,197	6,657	7,000	9, 198
	(b) 予算現額	4,384	2,745	6,769	10,926	9, 198
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,566	▲ 4,452	112	3,926	0
	(d) 繰越額					
	A.　計 (b+d)	4,384	2,745	6,769	10,926	9,198
B.　執行済額		4,384	2,745	6,769	9,367	8,462
うち交付金充当額		3,507	2,196	5,415	7,493	6,769
次年度繰越額						
執行率（%）（B/A）		100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	92.0%

予算の状況の説明：令和4年度は新型コロナの影響で大会が中止等になることがあり、執行率が85.7%となったが、令和5年5月より、新型コロナの位置づけが5類に移行されたことにより、八重山圏域内外問わず多くの大会等が開催されたため、今年度の執行率は92%となった。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
児童生徒派遣費人数(単位：名)	目　標	(600)	(600)	(1000)	(1000)
	実　績	961	991	1,545	1550
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明：
・合計人数が前年度よりも多く、小学校・中学校・スポーツ少年団・個人の申請者にもよく周知され活用されている。
・全国大会に出場した児童生徒もおり、八重山圏域外への派遣にも補助事業が活用されており、保護者の経済的負担の軽減に繋がった。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
児童生徒が広い視野を持てたか（80%以上）を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目　標	(　)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(　)
	実　績		100.0%	100%	100%	
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明：
・引率した教員や申請した保護者・児童生徒本人へのアンケート調査結果では、すべての対象者が「児童・生徒が島内ではできない経験をすることができた」と回答し、目標を達成した。
・「本補助金によって町外での試合も積極的に出場できた」等、本事業への満足度がわかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（保護者の満足度） ・八重山圏外への派遣にも本補助事業が活用されており、児童生徒が広い視野と経験を培うきっかけになったと考えられる。 （派遣人数（年度）） ・アンケート結果より、「本補助金によって町外での試合も積極的に出場できた」等といった意見があり、今年度より実施した補助対象の拡大(波照間航空路線の拡大)含め、本補助金の内容が派遣人数増の要因と考えられる。	（保護者の満足度） ・引き続き、高い満足度を維持しつつ、事業の目的に合致するものについては補助対象として対応できるよう適宜交付要綱の見直しを検討し、事業の更なる充実を図る。 （派遣人数（年度）） ・利用者（チーム）が固定化されている傾向があるので、情報発信を強化し派遣人数の増に繋げる。

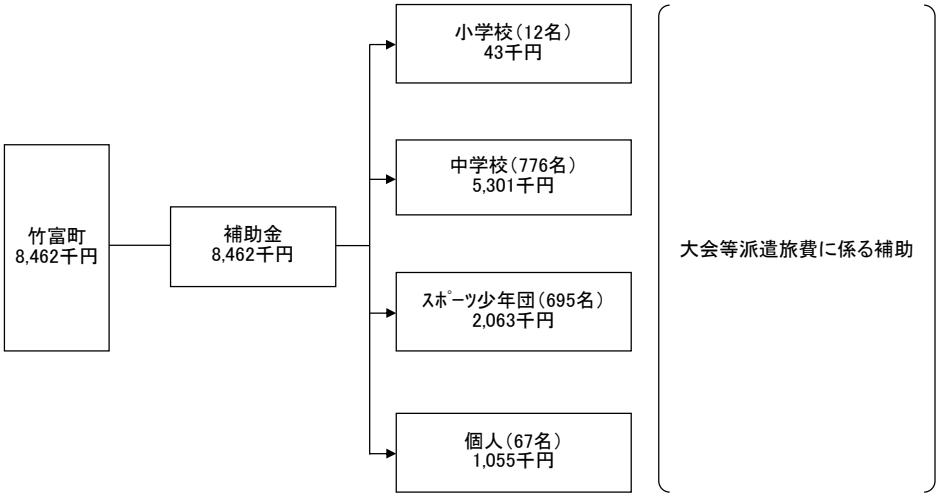
今後の取り組み方針

（保護者の満足度）
・満足度アンケートの自由回答欄に記載のあった補助対象となるチーム登録者や試合について、事業の目的に合致するものについては補助対象として対応できるよう適宜交付要綱の見直しを検討し、引き続き本事業が更に充実するよう取り組む。

（派遣人数（年度））
・幅広い利用者（チーム）の活用に向けて、町広報、公式SNS、HPでの情報発信を強化する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,462	8,462	6,769	1,693	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づく児童生徒としており、妥当である。 ○事業の目的・内容から予算規模は適正な規模であった。 ○受益者には一部自己負担を求めており、負担関係は妥当である。 ○費目・使途については実績報告で審査しており、真に必要なものと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３-②	外国語指導助手派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第４章－５－（３）－ア 国際感覚を身に付ける教育の推進
担当部課名	教育委員会　教育課	事業実施（予定）年度	平成27～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－１

事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語への興味・関心を高める。
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4, 180	4, 185	4, 187	4, 977	4, 995
	(b) 予算現額	4, 018	4, 186	4, 187	4, 977	4, 995
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 162	1	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A.　計 (b+d)	4,018	4,186	4,187	4,977	4,995
B.　執行済額		4018	4186	4,186	4,965	4,790
うち交付金充当額		3214	3349	3,348	3,972	3,832
次年度繰越額		0				
執行率（%）（B/A）		100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	95.9%
予算の状況の説明		事業計画通り執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校へ派遣	目　標	外国語指導助手の派遣（150回）	外国語指導助手の派遣（150回）	外国語指導助手の派遣（150回）	外国語指導助手の派遣（150回）
	実　績	外国語指導助手の派遣 154回	外国語指導助手の派遣 136回	外国語指導助手の派遣 156回	外国語指導助手の派遣 172回
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

竹富町内の小学校6校及び幼稚園1園へ外国語指導助手１名の派遣を実施し、年間で172回の派遣となった。
定期船欠航時には他の学校と訪問日を調整等を行ったり、学校からの希望で派遣回数を調整したことで目標値より回数は多くなったが国際感覚を身に付ける教育の充実が図られた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（　年度）
幼児児童の外国語への興味・関心が高まったか（80%以上）を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目　標	（　）	（80%以上）	（80%以上）	（80%以上）	（　）
	実　績		72%	99%	91%	
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

アンケート調査のは以下のとおり。児童は興味・関心があると考える。
【小学生へアンケート内容と回答】
問　ALTの授業を受けて英語が楽しいと思いますか。
答：1.とても楽しいと思う55.2%　2.楽しいと思う36.2%　合計91.4%
問　ALTの授業を受けて外国のことをもっと知りたいと思いますか。
答：1.もっと知りたいと思う50.9%　2.知りたいと思う31.6%　合計82.5%

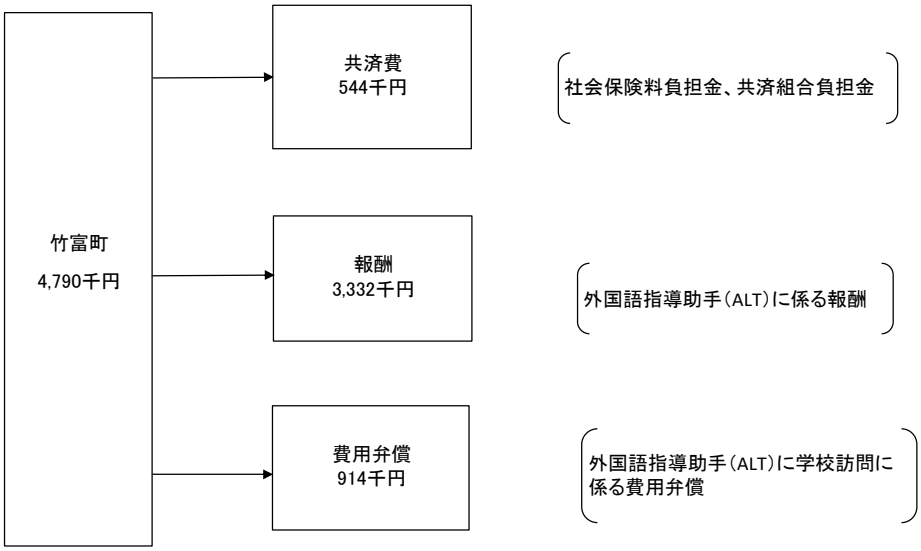
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	日頃から楽しい外国語授業に向け、教材研究や事前準備を頑張ってくれたおかげで英語の授業が楽しいと感じる児童生徒が増えてきていた。 しかし外国語指導助手（ALT）が町内の学校へ訪問する場合、船を利用するため、船舶の欠航や船に乗り遅れる等で派遣中止となる場合がある。そのため、授業のパフォーマンスが低下するなどの問題点がある。	ICT機器等を活用したオンライン授業を実施する等、安定した教育環境を提供していく。

今後の取り組み方針

・今後もALTが教材研究や事前準備できる時間を確保しながら、訪問に係る負担を軽減したり、外国語指導に集中できる環境づくりを推進していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,790	4,790	3,832	958	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)の選定については、面接を行い、業務に対する熱意や経験を考慮し、選考している。 ○事業内容に見合った、適正な予算規模である。 ○費目、使途については、招致外国青年就業規則（JETプログラム及びJETプログラムによらない参加者）や竹富町職員の旅費支給に関する条例等に基づき支給しており、目的に即し必要なものであったと判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-（10）-ア 離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（6）

事業内容	優良母牛の導入支援（購入費の1/2以内上限60万円）及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	58, 566	58, 475	58, 441	52, 475	52, 562
	(b) 予算現額	53, 090	51, 846	58, 441	37, 756	26, 141
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,476	▲ 6,629	0	▲ 14,719	▲ 26,421
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	53,090	51,846	58,441	37,756	26,141
B. 執行済額		53, 090	51, 846	54,869	22,916	16,938
うち交付金充当額		42, 472	41, 477	43,865	18,333	13,551
次年度繰越額						
執行率 （%） (B/A)		100.0%	100.0%	93.9%	60.7%	64.8%
予算の状況の説明		当初計画導入頭数80頭に対し68頭の導入計画申請があった。申請件数、セリ価格の下落により、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用したが、生産コストが増大しており、導入希望する牛が希望価格で落札できず、計画頭数に達していない。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
離島港湾靴底消毒用マット設置 6ヶ所 （竹富・小浜・黒島・波照間・西表東部・西表西部）	目　標	（消毒マット設置）	（消毒マット設置）	（消毒マット設置）	（消毒マット設置）
	実　績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置
優良母牛導入支援	目　標	（導入助成）	（導入助成）	（導入助成）	（導入助成）
	実　績	導入助成	導入助成	導入助成	導入助成

達成状況説明：
・町内港湾6箇所に防疫マットを設置したことにより、伝染病等の侵入を防止した。
・当初導入計画80等に対して43頭の導入支援を実施し、セリ価格が下落するなかでも、優良繁殖雌牛の導入により生産基盤の拡大を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R5年度	R年度	R年度	目標値（　年度）
・防疫マット設置6箇所 家畜伝染病等の発生件数0件	目　標	（　）	マット設置6箇所 伝染病等の発生件数0件	（　）	（　）	（　）
	実　績		マット設置6箇所 伝染病等の発生件数0件		（　）	
・優良繁殖雌牛導入支援 60万×80頭導入支援	目　標	（　）	（80頭）	（　）	（　）	（　）
	実　績		（43頭）		（　）	

進捗状況説明：
各離島ターミナルに防疫マットを6箇所設置した。家畜伝染病等の発生は無かった。
優良母牛導入支援については、80頭導入を計画したが、昨今のセリ価格の低下や飼料等の高騰から、計画頭数を導入するに至らなかった。

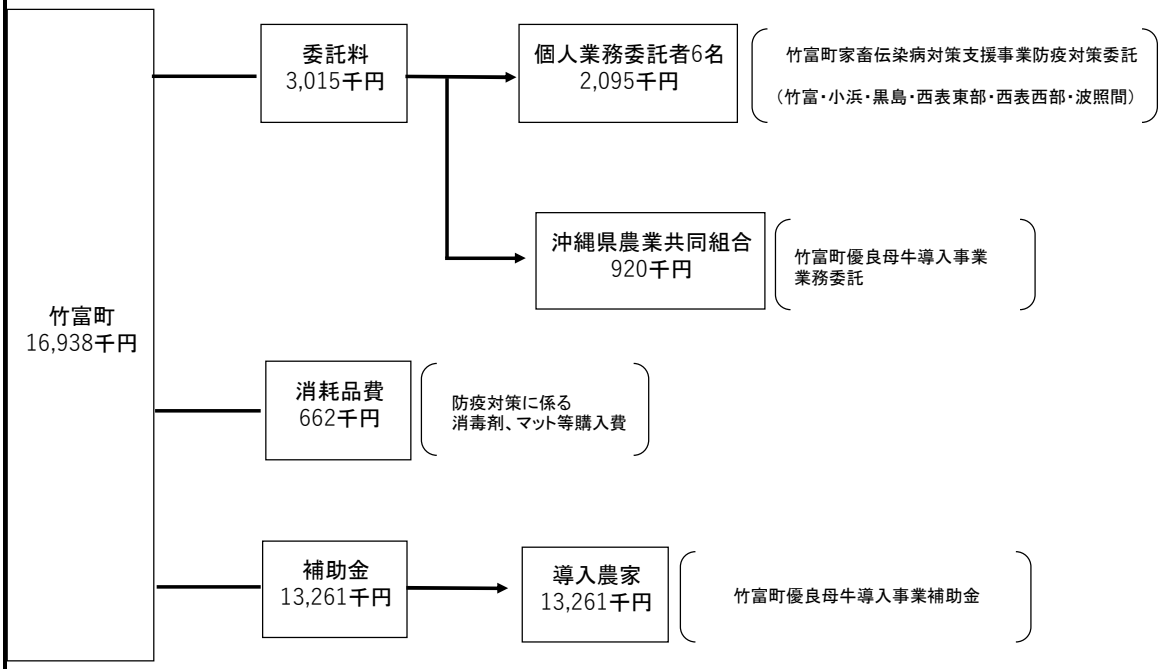
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・国内、県内でも鳥インフルエンザや豚熱等の家畜伝染病が発生がある。観光客の増加もあり、町内での家畜伝性病侵入防止対策の重要性が高まっている。 ・牛肉の消費、需要の低下並びに原油価格、物価高騰により飼料価格の上昇等から、子牛のセリ価格にも影響があり、セリ価格の下落が続いている。	・防疫マットの設置、消石灰の配布に加え、生産者の防疫意識向上に取り組む必要がある。 ・飼料価格の高止まりが継続しており、自給飼料の増大や生産コスト削減等、経営への影響を最小限に抑える取り組みを強化する必要がある。

今後の取り組み方針

・家畜伝性病侵入防止対策として各島への防疫マット設置を継続するとともに、家畜保健衛生所等と連携して伝染病等の侵入防止を目的とした講習会を実施するなど、各生産農場での防疫対策の強化に取り組む。
・生産コスト削減に向けて自給飼料率を上げていく必要があると共に、生産技術の向上を目的とした講習会等の開催を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,938	16,938	13,551	3,387	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・防疫対策委託契約は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号及び竹富町契約規則第19条第1項第6号並びに同規則第20条第2項の規定に基づき、妥当であったと考えている。また、導入牛業務委託については地方自治法第167条の2第1項第2号及び竹富町契約規則第20条第1項第1号の規定に基づき妥当と考える。 ・子牛価格の高騰を考慮して予算を確保したところ、予想を下回る規模となったため、流用により適正な規模へ見直しを行った。 ・受益者は導入費用の2分の1を負担しており、妥当である。 ・費目・使途については生産段階で検査を実施しており、適正だと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-②	文化財美化保全事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－1－(4)－イ 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施（予定）年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(3)
事業内容	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として活用し地域の文化振興を図る。				
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3, 190	3, 260	3, 260	3, 260	3, 722
	(b) 予算現額	3, 190	2, 838	3, 260	3, 260	4, 146
	(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 422	0	0	424
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計 (b+d)	3,190	2,838	3,260	3,260	4,146
B. 執行済額		3189	2838	2,892	3,209	4,141
うち交付金充当額		2551	2270	2,314	2,567	3,312
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	88.7%	98.4%	99.9%
予算の状況の説明		2地区の追加があり、昨年度より予算を増額しているが、予定通り執行し、清掃が完了できた。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
・各地区年間3回以上美化清掃を実施する。	目　標	（　69回　）	（　78回　）	（　102回　）	（　97回　）
	実　績	69回	78回	158回	157回
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：令和5年度より、小浜地区・古見地区を新たに加えて事業を行なうことができた。小浜地区（3箇所・年2回、作業員のべ30名）、竹富地区（10箇所・年35回、作業員のべ103名）、鳩間地区（3箇所、年10回、作業員32名）、新城地区（4箇所、4回、作業員のべ10名）、祖納地区（6箇所、7回、作業員のべ226名）、波照間地区（3箇所、5回、作業員のべ60名）、黒島地区（2箇所、年2回、作業員のべ75人）、古見公民館（3箇所・年10回、作業員のべ46名）において各指定文化財及び指定文化財候補の美化保全清掃を当初の計画どおり実施することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（年度）
本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られるか（80%以上）を含め、アンケート調査により、本事業の在り方を検証する。	目　標	（　　）	（　80%以上　）	（　80%以上　）	（　80%以上　）	（　　）
	実　績		55.10%	75%	87%	
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：アンケートの結果、文化財の保存に関する満足度が目標とする80%を超える87．2%であったことから、事業に対する理解が得られており、適切な文化財保存が図られているといえる。

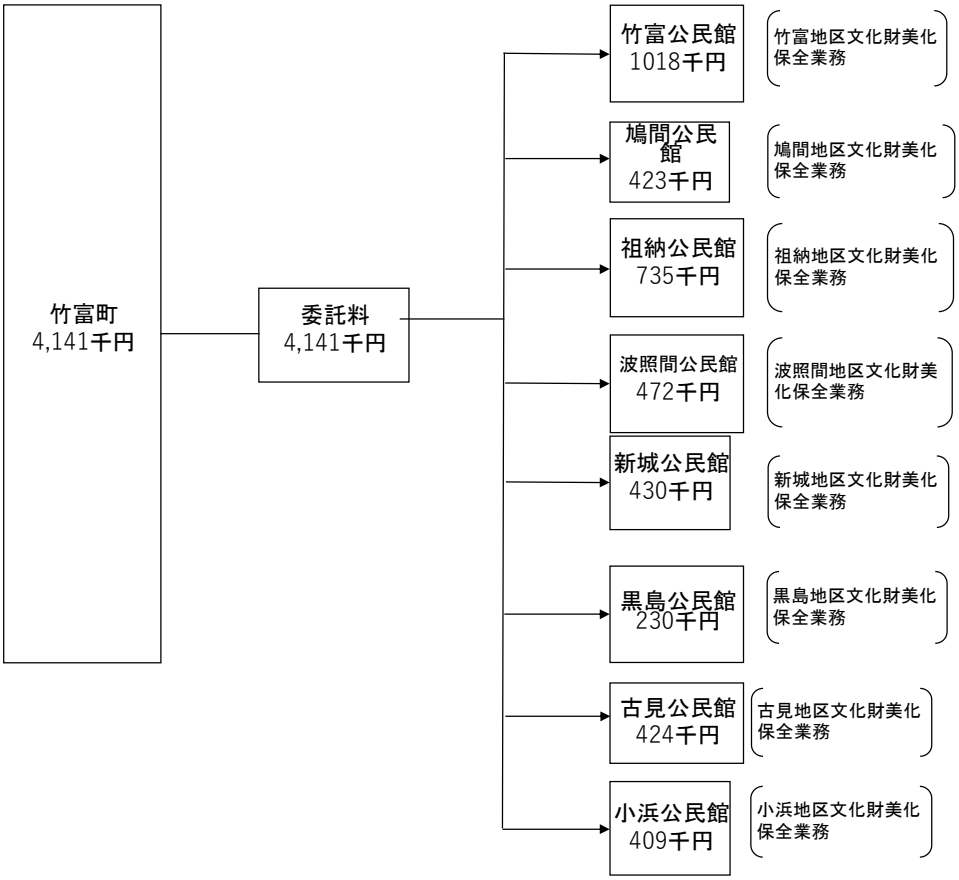
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	前年度まで、黒島地区の文化財は高所作業車の特殊車両を有している業者へ委託していたが、文化財に隣接する木の枝を伐採したことにより、公民館でも作業が可能となり他地区同様に公民館へ依頼した。 また、今年度より小浜公民館・古見公民館の清掃を追加した。各島々の公民館へ委託を行っているが、どの公民館においても、作業人員の確保・PCによる事務処理などが難しいとの声がある。	各公民館長との連絡や調整を密にし、各島々の状況に応じた作業ができるように、相談しながら事業を進める。 島々には多くの文化財があり、文化財保護に関しては維持管理が必要となる。各地区で大切に継承されてきた場所・ものが文化財となっていることから、現時点では清掃に関して地域の協力が得られているが、今後もこの体制が維持できるように公民館との協議が必要である。

今後の取り組み方針

各公民館と連絡を密にし、作業実施する際は担当職員も現場確認のため入るようにする。貴重な指定文化財などの石積み、遺構、史跡等における保全方法を地元公民館と考え、柔軟に対応していく必要がある。また、各島均衡に保全、清掃が実施できるよう見直しをしていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,141	4,141	3,312	829	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令第167条の2第1項第1号、竹富町契約規則第20条第1項第1号に基づき随意契約理由を明記した上で契約していることから、妥当である ○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適当であったと考える。 ○事業完了時に検査を実施しており、費目、使途は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－③	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－１－(2)－ア 自然環境・生物多様性の保全・継承
担当部課名	自然観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容	本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録地・西表島を代表する野生生物であるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命の体制を構築し、西表島の自然生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	12,173	10,953	12,919	9, 210	20, 172
	(b) 予算現額	12,397	10,952	12,918	9, 210	20, 172
	(c) 増減額 (b−a)	224	▲ 1	▲ 1	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)	12,397	10,952	12,918	9,210	20,172
B. 執行済額		12, 397	10,952	12,918	9,207	19,005
うち交付金充当額		9, 917	8,762	10,334	7,365	15,203
次年度繰越額						
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	94.2%
予算の状況の説明		ウイルス検査及び予防接種の件数が目標を下回ったことにより、当初予算額より執行済額が下回ることとなった。				

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
竹富町猫飼養条例運用委員会西表部会の開催	目　標	（会議 1回開催）	（会議 1回開催）	（会議 1回開催）	（会議 1回開催）
	実　績	会議 1回開催	会議 1回開催	会議 1回開催	会議 1回開催
飼い主不明猫の保護・収容	目　標	（実施）	（実施）	（実施）	（実施）
	実　績	実施	実施	実施	実施
保護収容個体と傷病鳥獣への措置の実施	目　標	（実施）	（実施）	（実施）	（実施）
	実　績	実施	実施	実施	実施
猫適正飼養の普及推進	目　標	（実施）	（実施）	（実施）	（実施）
	実　績	実施	実施	実施	実施
ペット適正飼育の普及推進	目　標	（講演会 4回開催）	（パンフレット作製）	（パンフレット、講習会、SNS発信等）	（実施）
	実　績	代替手段で実施	パンフレット作製	新聞、ポスター等の作成、掲示	実施
飼い猫登録管理の支援	目　標	（　）	（　）	（　）	（実施）
	実　績				実施
世界自然遺産モニタリングに対応した猫の飼養状況調査	目　標	（　）	（　）	（　）	（実施）
	実　績				実施

	達成状況説明	・竹富町猫飼養条例推進委員会西表島部会を本年度より立ち上げ、有識者や関係機関より意見を徴取した。 ・住民からの情報をもとに飼い主不明猫の保護収容を試みた。 ・猫の保護収容はなかったが、環境省に保護されたイリオモテヤマネコやカンムリワシの治療に協力した。 ・猫適正飼養の普及推進では、登録されている猫の飼養者に対して、定期的なウイルス検査とワクチンの接種を呼び掛けた他、引き続き完全屋内飼養に関する指導助言をおこなっている。 ・ペット適正飼育に係る普及啓発では、適正飼養に係るチラシを作成し、島内各所に張り出したほか、LINEで発信した。 ・飼い猫の新規登録に必要な手続きや適正飼養の方法についての指導を行った。 ・世界自然遺産モニタリングの評価につながる完全屋内飼育の実現に向け、飼養状況の確認調査を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（ 年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（ 年度）
逸失ペット保護収容個数4頭以内（保護頭数）	目 標	（ ）	（ 11頭以内 ）	（ 4頭以内 ）	（ 4頭以内 ）	（ ）
	実 績		3頭	1頭	0頭	
飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率30%以上（検査及びワクチン接種率）	目 標	（ ）	（ ）	（ 30%以上 ）	（ 30%以上 ）	（ ）
	実 績			49.6%	26.6%	

進捗状況説明	・逸失ペットの保護収容数はここ数年少ない頭数を継続させていたが、本年度は0頭を達成させることができた。 ・飼い猫のウイルス検査やワクチン接種は、本年度は目標を下回る頭数しか飼い主の協力を得ることができなかった。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
・逸失ペットの保護収容数として、本年度初めて保護収容される猫0頭を達成した。ただし、完全屋内飼養が徹底されておらず、集落内を徘徊する猫の目撃は続いている。 ・飼い猫のウイルス検査やワクチン接種は、本年度は目標を下回る結果となった。本事業に理解のある飼養者を増やす必要がある。	（逸失ペットの保護収容） ・飼い主不明猫の情報を減らしていくために、屋内飼養を徹底するよう飼い主への指導を徹底する必要がある。 （感染症の抑制） ・西表島に新たな感染個体が流入しないよう、水際対策は引き続き重要である。 ・登録時のウイルス検査だけでなく、定期的なウイルス検査やワクチン接種の普及を推進する必要があるが、そのためには飼養者の理解を広げる必要がある。 （普及啓発） ・より多くの人に理解と関心を広げるため、様々な手法を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

（逸失ペットの保護収容）
・逸失ペット（ノラネコ）“0”を確実にするため、引き続き所有者不明猫に関する情報収集を継続するとともに、飼い猫が屋外を放浪しないように屋内飼養の徹底を飼養者に呼びかける。
（感染症の抑制）
・新たな感染個体が流入、拡散しないように、登録後の猫についても定期的なウイルス検査やワクチン接種を推奨していかなければならない。また、そのためには飼養者の理解を広げる必要があるため、猫の飼養登録情報をもとに飼い主への呼びかけを行う。
（普及啓発）
・竹富町のHP、公式youtube、公式LINE、NPO法人が関係するSNS等、効果的な普及啓発の手段を検討しながら実施していく。
（世界自然遺産モニタリングに対応した猫の管理）
・完全屋内飼養率を向上させるため、猫の飼養登録情報をもとに飼い主への呼びかけを行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,005	19,005	15,203	3,802	

竹富町 19,005千円 → 委託料 19,005千円 → NPO法人 どうぶつたちの病院沖縄 19,005千円

（竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地方自治法施行令及び竹富町契約規則に基づき随意契約を行っており、妥当である。 ○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適当であったと考える。 ○事業完了時に検査を実施しており、費目、使途は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

記載例

市町村名	○○市

令和５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－①	観光客受入強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－（2）－（ウ） 観光客受入体制の整備
担当部課名	○○部　○○課	事業実施（予定）年度	平成24～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（1）

事業内容

本市を訪れる観光客の満足度を向上させるため、主要観光施設における案内版の整備、観光ガイドの接遇研修の実施、新たな観光メニュー開発を行い、観光客受入体制の強化を図る。

効果発現年度　■当年度　■後年度（令和7年度）

実施方法　■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6, 560	28,000	31,200	31,100	31,100
	(b) 予算現額	6, 560	32,000	25,760	22,800	27,800
	(c) 増減額 (b-a)	0	4,000	▲ 5,440	▲ 8,300	▲ 3,300
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A.　計 (b+d)	6,560	32,000	25,760	22,800	27,800
B.　執行済額		6156	31500	17965	20,000	26,755
うち交付金充当額		4925	25200	14372	16,000	21,404
次年度繰越額		0	0	0	0	0
執行率（%）（B/A）		93.8%	98.4%	69.7%	87.7%	96.2%

予算の状況の説明：当初、4箇所で観光案内板の設置を予定していたが12月補正で1箇所分の予算3,300千円を減額した。
不用額700千円については委託の入札残や消耗品数量の減などによるものである。

活動目標（指標）及び達成状況

R5活動目標（指標）		達成状況 R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
観光案内板の整備	目　標	2基	6基	3基	3基
	実　績	2基	6基	3基	3基
ガイド接遇研修の実施	目　標			60回	70回
	実　績			73回	75回
観光メニューの開発	目　標		2メニュー	2メニュー	2メニュー
	実　績		2メニュー	2メニュー	2メニュー

達成状況説明
・観光案内板については当初予定では4基であったが、1箇所で土地所有者との調整が付かなかったため、年度途中で目標を3基の整備とすることに変更し、3基の整備がなされた。
・ガイド接遇研修については見込みより申し込み者数が多く、希望者が全て受講できるよう回数を増やした。
・観光メニューについては昨年度までに開発した4メニューに加え、今年度「○○周遊コース」、「××体験」の2メニューを開発した。

成果目標（指標）及び進捗状況

R5成果目標（指標）		基準値（　年度）	R3年度	R4年度	R5年度	目標値（R6年度）
○○市を訪れた観光客の満足度（満足度調査で「満足した」と答えた割合）	目　標	65%	70%	75%	85%	95%
	実　績		69%	83%	85%	
【R6成果目標】入域観光客数（年度）（年2回の調査による推計値）	目　標	68,500	70,000	71,000	73,000	100,000
	実　績		69,600	71,900	72,800	

	進捗状況説明	・観光客の満足度については、８月と１月に本市の主要観光地である〇〇城址及び〇〇センターで調査を実施した。〇〇名からの回答を集計した結果、目標である85%の観光客から満足したとの回答が得られた。内訳ではガイドの項目が昨年度より3ポイント改善し89%、案内標識などでは5ポイント改善し75%が満足したとの回答であった。 ・入域観光客数については、前年度から増加したが目標にわずかに届かなかった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（観光客の満足度） ・平成29年度から取り組んだ案内板の整備、ガイド育成、新規メニュー開発により、観光客の受入基盤が整ったことが目標値達成の要因と考えられる。 （入域観光客数（年度）） ・目標に届かなかった原因として、ゴールデンウィークや夏休み期間の天候不良が考えられる。開発した観光メニューのうち「××体験」は雨天時でも対応可能だが、商品の認知度が低く利用実績が伸び悩んでいる。	（観光客の満足度） ・市の基本計画で目標としている満足度90%の実現に向け、引き続き案内板の整備を進めるとともに、ガイドの質の向上と観光メニューの充実を図る。 （入域観光客数（年度）） ・悪天候時にも対応できる観光メニューを充実させ、情報発信を強化することで、入域観光客数の増に繋げる。

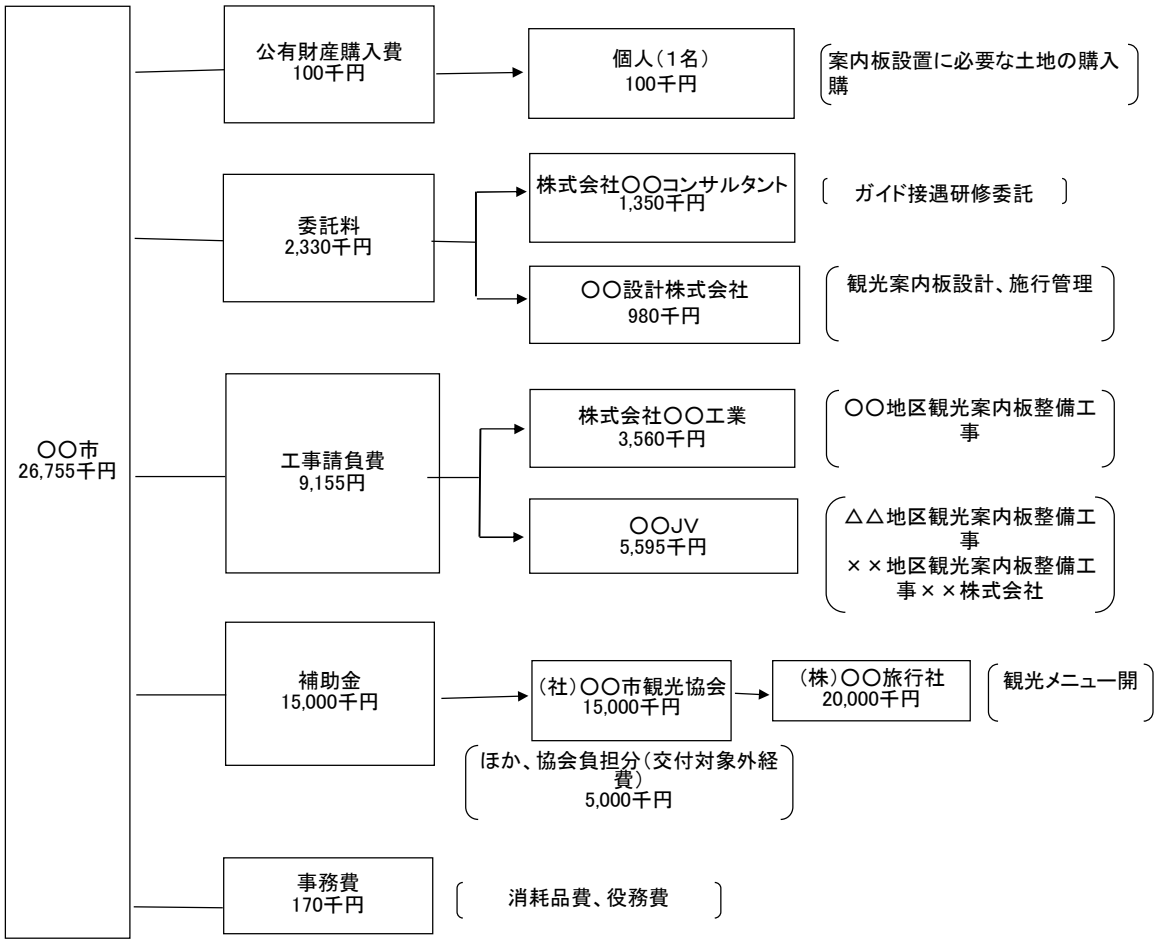
今後の取り組み方針

（観光客の満足度）
・今回整備できなかった案内板1箇所については、土地所有者との調整が付く見込みであり、30年度事業として整備する予定である。ガイドの質の向上については、新たにスキルアップ講座を開催し、外国語講座についても実施を検討する。観光メニューについては、引き続き多様なメニュー開発に取り組む。

（入域観光客数（年度））
・引き続き多様なメニュー開発に取り組むとともに、開発した観光メニューの活用に向けて、旅行代理店への営業や市及び観光協会HPでの情報発信を強化する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
31,755	26,755	21,404	5,351	5,000



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○受益者である観光協会は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	